

令和4年香美市議会定例会6月定例会議 市長提案説明

本日、議員の皆さまのご出席をいただき、令和4年香美市議会定例会6月定例会議が開かれますことに、厚くお礼申し上げます。

議案の説明に先立ち、改めて市長としての所信について述べさせていただきます。

私は、大学卒業後、家業である瓦屋の仕事、そして高知県議会議員を約11年務めさせて頂きました。この2つの経験を通じて、何としても歴史ある集落の伝統と文化を次世代に残さなければならない。また香美市の持つ潜在力を最大限引き出して、住むなら香美市と言ってもらえる町づくりをしたい。そしてその為には、市長として自らが先頭に立って、市政を運営させて頂きたい、と思うようになりました。

この思いから昨年12月23日に県議会議員を辞職させて頂き、今年3月27日の市長選挙に出馬致しました。結果、香美市民の皆様の温かいご支持を頂きまして、この度当選させて頂きました。今ここに立たせて頂く私は、何としても香美市民のご期待に応えたいという気持ちでいっぱいです。

市民の皆様から頂いたお知恵とアイデアを基にして、市役所職員と一緒に汗をかき、事業を立案して、限られた予算の中で、最大限の効果と市民サービスに繋げていきたいと考えております。

本日お集まりの市議会議員の皆様には、議案について、幅広い観点からご審議頂き、また香美市民のために、色々なご意見やご提案を頂ければと思います。何とぞ、よろしくお願いいたします。

さて、本日より心新たにスタートする気持ちで、私が市政運営において掲げる3つのビジョンについてお話をさせていただきます。そのビジョンとは、「人」づくり。人が輝く香美市。「絆」づくり。多様な人と地域がつながる香美市。「夢」づくり新しい価値を創造する香美市。という3つであります。

まず1つ目の「人づくり」というビジョンには、子どもたちの教育に加えて、社会人の学び直し、また香美市職員のスキルアップまで含む、幅広い学びを、町づくりの中心に据えたいという思いで掲げました。

香美市は、幼稚園・保育園から、小・中学校、山田高等学校、高知工科大学と、全ての教育機関があり、加えて、山田特別支援学校、林業大学校、鍛冶屋創生塾と学ぶ場の多い土地であります。また文化芸術の分野でも、これまで優れた成果を出し、多くの人材を輩出してきた町でもあります。こういった潜在力をしっかりと生かしてまいります。

次に「絆づくり」です。このビジョンについては、コロナ禍で人と人との繋がりが薄れている現状に危機感を持ち、香美市の温かい人間関係を、何としても残していきたいとの思いを背景にして掲げました。自治会などの地域の助け合い、文化活動やスポーツ、伝統行事などをできるだけ応援していきたいと思っております。

また他県や他地域との絆づくりということで、香美市の産品を県外に売っていくトップセールスにも力を入れていきますし、香美市の観光施設に、他県や外国から観光客を呼び込んでくることにも、積極的に取り組んでまいります。その結果、香美市の産業を振興し、雇用を生み出す取り組みに繋げ、加えて、魅力ある地域を作り出し、移住者を呼び込むこと、また企業誘致にも取り組めます。

最後に「夢づくり」です。高知県がコロナ禍の中で今後の成長の原動力にと、新たに掲げたキーワードに「デジタル化」「グリーン化」「グローバル化」の3つがあります。私はこの3つこそが、まさに香美市の夢づくりのキーワードでもあると考えています。

簡単に、説明を加えます。

まず、香美市におけるデジタル化とは、情報通信技術の進歩を香美市民の幸福につなげることであり、例えば、中山間地域のデジタル化によって、交通のハンディを補い、これまで、できていなかったことを実現してまいります。そして何より高知工科大学がある香美市は、非常に有利な町であると思えます。

次に、グリーン化とは、環境問題への対応であり、持続可能な社会を作り出す取り組みです。豊富な森林資源、水力発電や太陽光発電など、自然エネルギーを生み出してきた香美市は多くの蓄積があり、香美市は存在感を発揮できるはずで、新たな試みにも、積極的にチャレンジしてまいります。

最後にグローバル化については、教育において、国際バカロレア機構の認定を受けた大宮小学校など、香美市の探究学習の取り組みは、国際化を担う人材育成で全国の先頭グループに位置しています。

また龍河洞やアンパンマンミュージアムは、外国人観光客を呼び込む潜在力があり、施設整備への投資を行いグローバル化にも対応していきます。また世界に広がるよさこい祭りも、グローバル化を実現させる潜在力の1つであり、香美市として積極的に関わっていきたいと思えます。いうまでもなく、YOSAKOIソーラン祭りの立ち上げに関わった旧土佐山田町をご縁とした積丹町との友情は、姉妹都市締結を経て、しっかりと受け継がれており、よさこい鳴子踊りを生かした国際交流という夢も実現させたいと思えます。

私が掲げる人づくり、絆づくり、夢づくりという3つのビジョンを、しっかりと実現し、香美市民に「香美市に住んで良かった」と言ってもらえるよう、取り組んでまいります。

次に、高知県政と香美市政との連携についてもお話をさせていただきます。私は、県議会議員として約11年仕事をさせて頂いた経験から、私の考える政策や事業の立案は、県政をベースに考えており、市政運営に当たっても、県政の流れを把握して香美市政を運営していきたいと思っています。県政の流れを知り、その政策を先取りすることで、県の予算と事業を活用し、香美市民の住民サービスを向上させていきます。

以上のことから、高知県が掲げる「5つの基本政策と3つの横断的な政策に基づく県づくり」については、香美市も同様に「5つの基本政策と4つの横断的な政策に基づく香美市づくり」ということで、歩調を合わせて取り組んでいきます。

すなわち、香美市における5つの基本方針とは、経済の活性化、健康長寿の香美市づくり、教育の充実、市民を守る災害対策、インフラの充実と有効活用の5つです。そして4つの横断的な政策とは、親しまれ信頼される行政窓口への継続的な改善、中山間対策の充実・強化、こども施策の充実と女性の活躍の場の拡大、文化芸術とスポーツの振興です。

私が掲げる3つのビジョンを実現させる方針として、「5つの基本政策と4つの横断的な政策に基づく香美市づくり」を位置づけます。

今の香美市政において、私のビジョンと方針が、市役所内で共有できているかといえば、残念ながら、個別の政策まで落とし込めていない状況です。

6月定例会議において、議員の皆様からのご質問に、しっかりとお答えしていく中で、私のビジョンと方針について、分かりやすい形でお示しできればと考えております。どうかよろしく願いいたします。